

平成29年度第2回長浜市健康づくり推進協議会 会議録

日 時：平成30年3月5日（月）14：00～15：40

場 所：ウェルセンター2階会議室

【出席者】

湖北医師会：手操会長

長浜市社会福祉協議会：石地介護事業課長

湖北歯科医師会：川瀬会長

長浜市老人クラブ連合会：村上理事

長浜赤十字病院：楠井副院長

健康づくり0次クラブ：大橋副理事長

市立長浜病院：土川地域医療連携室長

事務局：健康推進課 織田次長・伊藤参事・藤副参事・岸下副参事・森副参事・伊吹副参事・高木主査・金戸主事

【代理出席】

湖北健康福祉事務所：寺脇係長

長浜市立湖北病院：中川医事課長

【欠席者】

湖北薬剤師会：久留島副会長

長浜市連合自治会：速水伊香具連合会長

長浜市小中学校教育研究会養護教諭部会：三原養護教諭

長浜市民生委員児童委員協議会：早川副会長

長浜市健康推進員協議会：瀧本副会長

【要点録】

1 開会（挨拶：長浜市長）

2 議事

①健康ながはま21の第4期への改定について（資料A、B）

②

・「健康ながはま21」第3期（平成26～30年度）

平成29年度実施事業計画について実施結果（見込み）（資料1）

・目標達成状況について（資料2）

③平成29年度の健康づくりの中心となる取り組みと課題について（資料3～6）

【事務局説明】

①「健康ながはま21」第3期4年目となる実施結果（見込み）について、資料2に基づき報告しました。

②平成29年度の健康づくりの中心となる取り組みと課題について報告しました。

・歯科専門部会の報告事項について（資料3、3-②）

・地区活動の取組みについて（資料4）

・休日急患診療所事業について（資料5-①）

・小児救急診療体制について（資料5-②）

・「健康（幸）なまちづくり都市宣言（仮称）」について（資料6）

健康ながはま 21 の改訂とアンケートの内容について

- 会 長：ソーシャルキャピタルについてはどう評価するか。長浜市は0次事業で京大と関係もあるので話して、専門家のご意見を聞いてみてはどうでしょうか。
- 委 員：格差社会という話もあるので、経済的な状況を聞くのはどうでしょう。聞き方は難しいが…例えば暮らしぶりに余裕があるか、などの聞き方も考えられます。実際問題として、減塩で野菜を食べようと言っても野菜が高価だったり、自殺対策に関してもかなりのパーセンテージで経済問題が絡んでくると思います。
- 会 長：格差の問題は大事だが聞きにくいこともあると思います。最終学歴や収入額など、聞きにくいこともいずれは聞けるような雰囲気づくりに行政も取り組んでいただきたい。
- 委 員：先ほど0次事業の話が出ましたが、最終学歴や年収額を聞く項目があります。書きたくない人は書かないということもできます。疾患にかかった際に収入が無ければそれ以上の治療はしないということに関してそういった質問がありますが、さきほど出たような大まかな聞き方もいいと思いました。
- 会 長：健康ながはま 21 は広く一般市民に対してのアンケートであることに比べ、0次は基本的に手を挙げてもらって協力していただいているという面もあります。
- 委 員：地域のつながりという質問もありますが、地域以外のつながりを持っている人もいないのでしょうか。また、かかりつけ医を聞いている部分では、かかりつけ薬局も聞いていただけると良いと思います。運動については、イベントを1回するよりも、日常の家事等で体を動かすという方が後の役に立ちます。定年退職すると急に運動しなくなりひきこもりになるという方もおられますし、子供でも体を動かす機会については差があり、ゲームばかりしているということもあります。ただ単に動かしているのもよしということもあると思います。
- 会 長：他に何かご意見があれば、後日でも事務局に言ってください。
- 事務局：現在課内の方でも見直しているところです。担当課とも連携して見直しを行い、次回お諮りさせていただく予定です。その際にこういう観点が抜けているということがあれば言っていただきたい。
- 会 長：国県でこういう質問してくださいと言っているのだと意見を言ってもらっても反映しきれない部分もありますが国・県の質問を倣うのでしょうか。
- 事務局：独自の部分もありますが、県に合せてくる部分もあります。
- 会 長：それならば県に倣う部分もあるということをおかないとせっかくの意見が反映できないと思います。できるとすると、項目を追加していくということだと思います。
- 委 員：答えられる人ごとで思いが違ふかもしれません。都会では地域とのつながりが大事ということになっていますが、この地域がそういった付き合いが面倒で新興住宅地がいいという方が多いと、方針とは逆になるので同じ設問がいいかはわかりません。
- 会 長：アンケートそのものを修正するのと、追加項目で同じ項目を違う方向から聞いた方がいいといったことや、追加項目で聞く必要があるのではといったことは反映可能だと思うのでそういった視点で意見をいただきたいと思います。

自殺対策について

委員：ゲートキーパー講習について終了したという認定書のようなものはありますか。

事務局：所定の時間を受けていただいた方については修了書をお渡ししています。

フォローアップ研修も2年後に実施しています。

委員：3企業ということでしたが企業数は増やさなくていいのですか。

また、公的機関も対象になりますか。

事務局：毎年3企業ごと順番に行い3年間行っています。企業の規模は様々で、大きな企業だと一部の方に講習するなどし、少しずつ積み上げている状況です。

企業の中には官公庁も入ります。

委員：特に学校について、教師自身の問題を見ないと子供の問題も見れないと思います。

それを職場として行うのは教育委員会なのかもよくわかりません。

会長：精神保健という意味でなら産業保健の面から県の教育委員会から産業医、学校医が産業医を兼ねるといったのがあったが別途産業医がつくというの也有ります。精神の問題は専門医でないと一般診療医では対応できない。こういった部分も取り組んでいかないといけない。

健康（幸）なまちづくり都市宣言（仮称）について

会長：このことを健康づくり推進協議会で話すことについては、規則第2条の「その他健康づくりに関し市長が必要と認めること」に該当すると思います。

委員：元気であることについて一般市民の方と認識のズレがあると思います。例えば、どこかに行って楽しかった、というのが健康にあたるかどうか。生まれてすぐ介護を受けている人は常に健康ではないのか等。そういったことは宣言に反映した方が良くと思います。

委員：予算規模はいくらくらいですか。

事務局：平成30年度に関しては特に予算計上はしていません。平成31年度に向けて各所にお話しを聞かせていただき、意見集約していく予定です。

3 閉会（挨拶：健康推進課長）